

矢の如く!

1年で最も短い3学期。あっという間に1月が終わり、明日から2月です。人の感覚というのは不思議なもので、1日は24時間、1ヶ月は30日程で、全く平等に時間は過ぎるのですが、状況によって短く感じたり、長く感じたりします。1月は行事等も多く、流石に短く感じられました。さて、2月、3月はどうでしょうか。昔から、「行く月、逃げる月、去る月」と言われるくらいですから、やはり、あっという間に年度末を迎えそうです。

さて、2月の最大の行事といえば、やはり学年末テストでしょうか。今学期のキーワードに“有終の美”を掲げましたが、努力の成果が結果にしっかり表れるのが定期テストです。今日からの2週間、“有終の美”を飾れるよう、よくよく授業に集中し、必死に家庭学習に取り組んで、結果につなげて欲しいと思います。



どんな感じ?

ある日の職員室での会話、「印刷はA4でエ～ヨン」「昔はそれを言う人が結構いましたね」「昭和の駄洒落ですね、いわゆるオヤジギャグ」(笑、笑、ニカ笑)

私も娘から、「それ、オヤジギャグ」と一刀両断され、会話が途切れることがあります。個人的には大好きです。そこで、問題。以下の文章に、同音異義語の漢字をあててください。

- たいちょうではなく、身長が170cmの切込たいちょうの、たいちょう時のたいちょうはどうでしたか。
- オカンがおおかんをかぶっているのを見て、おかんがした。けんおかんさえ覚えた。
- 君にすいせんされた、あのすいせんトイレに飾られていた、すいせんの茎は、すいせんの如くまっすぐに立っていた。

さて、全問解けましたか? けっこう難しいですよ。で、何が言いたいか。そう、日本語は奥が深いということです。同音異義語がたくさんありますし、逆に異音同義語? もたくさんあります。例えば“母”。お母さん、母ちゃん、ママ、マミー、御母(オカン)、御ッ母(オッカー)お袋、母上、お母様・・・。このように、多くの表現があります。私達日本人は、これらを取捨選択しながら、話したり文章を書いたりしているわけですから、よくよく考えると大したもの。ただ、上手に使いこなしているかということ、疑問が残ります。それを少しでも解消する方法は何か。もちろん日本語検定や漢字検定などを受けるのも一策ですが、やはり本を読むこと。これが一番ではないかと思っています。もちろん駄洒落を言いながら笑いあう。これも大切です。ということで、「オヤジギャグも必要だ!?!」という話でした。えっ、そんな感じ?・・・

